

春野集落説明資料

平成30年6月29日(金)

県、中山間地振興へ本腰

5年計画始動

「チャレンジ集落」指定 取り組み支援

新規 それぞれの中山間チャレンジ事業の概要

目的
中山間地域のそれぞれの集落や産地が主体的に行う課題の抽出や解決策の検討、及び目標の実現に向けた取組に対して、関係機関が一体となって支援することにより、農業・農地の維持や農業所得の向上を図る。

事業内容

それぞれの中山間チャレンジ事業

<集落・産地での話し合い>

<現状>

- 農地の受け手不足
- 耕作放棄地の増加
- 有害鳥獣被害の発生

根本的な課題は？
担い手の確保をどうする？
農地整備をどうする？

新品目の導入、農作業受託組織の設立などの取組を実施

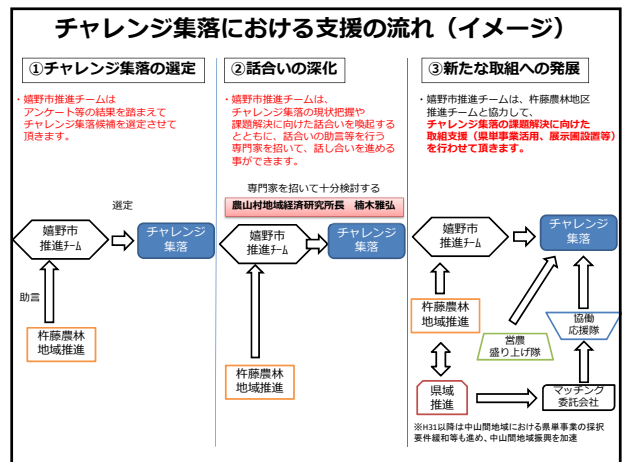
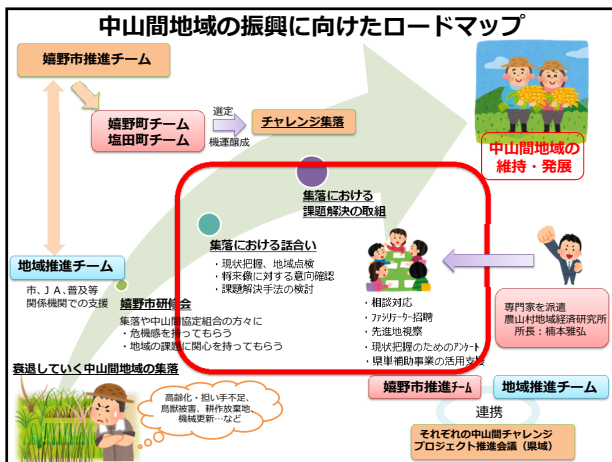
<県・市町・JA等の取組>

- 合意形成や目標実現に向けた支援

このままでは集落の将来が…皆でなんとかしないと…

中山間地域の維持・発展

事業期間 2018年度(平成30年度)～2022年度(平成34年度)



Q1. なぜ春野なのか？

A1. 平成28年から、29年の2か年間話し合いが、重ねられた集落であった事で春野集落にお願いさせていただきました。

Q2. 1年だけで良いのか？

A2. 集落の中で、

- ①危機感を共有していただき
- ②機運を高めながら
- ③水田を維持をどうするのか

目標を設定して、実行へと！

※1年間で、達成できれば、1年で完了です。
※複数年取り組むことも、可能です。

Q3. 春野だけ特別に行うのか？

- A3. 嬉野町の「△吉田集落」にもお願ひしています。
- ・嬉野市内で、水田を守る取り組みを実施したいと考える集落があれば、今後、「チャレンジ集落」にお願ひしたいと考えています。

Q4. 県内どこでも、やっているのか？

- A4. 佐賀県には20市町があり、全ての市町で検討して頂いています。
- ・嬉野市は、中山間の問題を真剣に考えており、6月の嬉野市議会で、いち早く、予算化して取り組む事としております。

Q5. 中山間問題を行政は、どう考えているのか？

- A5. 6月16日の佐賀新聞に取上げられた様に佐賀県は、中山間振興へ本腰を入れて、取り組みます。
- ・平坦部と比較して、条件不利地である中山間地域に重点を置いた取り組みを、平成30年度から5か年間実施します。

Q6. この事業は、法人化を進めるモノなのか？

- A6. 法人化を進めるものではありません。
- ・中山間地域は、状況や課題が異なるそれぞれの集落があり、それぞれの集落毎の目標を定めてもらいそれを実践していく事をお願いします。

Q7. この事業は、どこがやるのか？

- A7. 市町推進事業の実施主体は、『嬉野市』です。
よってチャレンジ集落のリーダー（責任者）は、区長さんをお願いします。
- ・しかし、実際にアクションを起こしてもらうプレイヤーは、『春野集落』の皆さんです。よろしくお願いします！

